

- 蓄電池を監視制御するBMU※¹の機能と充電器などの装置を制御するCPU※²の機能とを統合した電池監視制御ユニットBMCPU※³

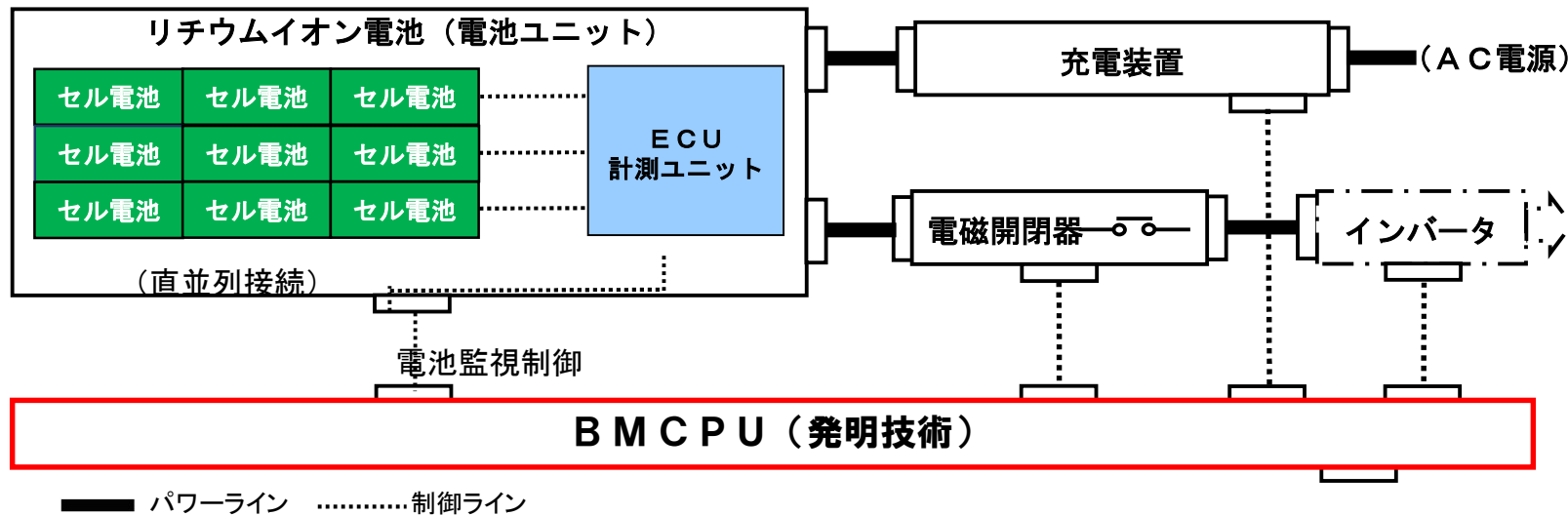
※¹ BMU Battery Management Unit 、※² CPU Central Processing Unit

※³ BMCPU Battery Management Central Processing Unit

【リチウムイオン電池を適用した事例】

特許第5352014号

■ BMCPUによる蓄電システム構成



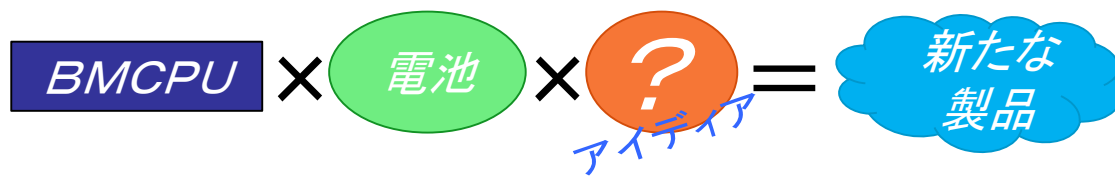
【BMCPUの特徴】

- 複数のCPUを統合し、複雑な配線を解消したことで、構造を簡素化。
- デジタル回路とアナログ回路とによる多重保護回路を搭載し、CPUがフリーズしても、安全にシステムを停止できる。
- システム停止中の待機電力がなく、長期間保管した状態でも電池容量を維持可能。
- 仕様の異なる各電池メーカーのリチウムイオン電池を制御可能で、汎用性が高い。

■高い汎用性と安全性を持つBMCPUを用いて、さまざまな製品を開発



■BMCPUとリチウムイオン電池を用い新たな製品を創出



ポータブル電源装置

【特徴】

- 無電源場所での使用 (災害時、作業現場)
- 無騒音、無排ガス
- 全天候型



【活用事例】

熊本地震(電源)、博多駅前道路陥没事故(照明)での使用状況

完全自己処理型水洗式トイレ

【特徴】

- きれい・快適で臭いが無い
- 水道設備がいらぬ
- 汲取りがいらぬ
- 電源設備がいらぬ



【活用シーン】

- 災害時での避難場所
- 大型イベント会場
- 建設現場や大型船舶
- 山や公園